

令和 7年度予算見積調書

課室名: 医療人材課
 担当名: 看護・医療人材担当
 内線: 3543

(単位: 千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業		
S134	埼玉県訪問看護教育ステーション事業費			一般会計	衛生費	医薬費	保健師等指導管理費	看護指導費		
事業期間	令和元年度～令和7年度	根拠法令	なし			針路分野施策	03 介護・医療体制の充実 0301 地域で高齢者が安心して暮らせる社会づくり	SDGsゴール 3	SDGsターゲット 3-8	
1 事業概要	急速な高齢化の進展に伴い、医療・介護の需要が高まっており、本県の令和7年の在宅医療の必要量は平成25年の約1.8倍になると見込まれている。 こうしたことから、在宅医療の要である訪問看護職員を育成し、訪問看護の質の向上を図るとともに在宅医療における地域連携・多職種連携を促進していく。 (1) 埼玉県訪問看護教育ステーション事業 5,687千円			5 事業説明 (1) 事業内容 訪問看護ステーションに対し、ニーズを捉えた実践的な研修及び圏域内での業務連携の機会を提供できる体制を構築するため、人材育成支援の経験が豊富で地域の医療機関との連携が多数ある訪問看護ステーションを「埼玉県訪問看護教育ステーション（以下、「教育ステーション）」と位置づけ、県内の訪問看護ステーションの人材育成を行う。 教育ステーションは令和7年度当初に2次保健医療圏に各1か所で計10か所の設置が完了する見込みである。 (2) 事業計画 教育ステーションにおいて、県内全域及び圏域内を対象に以下の研修等を実施する。 ア 県内全域を対象とした複雑な訪問看護が必要となるテーマを扱う実践的な研修 イ 圏域内を対象とした地域に即したテーマを扱う実践的な研修 ウ 地域の医療機関等と連携した多所属・多職種による研修（ア～ウを合わせて、1教育ステーションにつき3回程度実施） エ 医療機関と訪問看護ステーションの実践的な業務連携（1教育ステーションにつき同行訪問2回、相互研修8回程度） (3) 事業効果 県内の各訪問看護ステーションが圏域内で実践的な研修を受けられる仕組みを一層整備することで、訪問看護職員の確保及び訪問看護の質の向上を図るとともに、地域連携・多職種連携を促進していく。 【活動指標（アウトプット）】研修回数30回、同行訪問件数20回、業務連携件数80回 【成果指標（アウトカム）】訪問看護ステーションに勤務する訪問看護職員数 令和8年：4,005人						
2 事業主体及び負担区分	(県 10/10)									
3 地方財政措置の状況	なし									
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員	9,500千円×1人=9,500千円									
予算額		財 源 内 訳							一般財源	前年との対比
		繰入金								
決定額	5,687	5,687						0	0	
前年額	5,687	5,687						0		

事業内訳書

事業名	埼玉県訪問看護教育ステーション事業費		
単位事業名	埼玉県訪問看護教育ステーション事業	予算額	5,687千円

○歳入

(単位：千円)

款・節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
繰入金・ 地域医療介護総合確保基金繰入金	5,687	0	
合計	5,687	0	

○歳出

(単位：千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
負担金、補助及び交付金	5,687	0	(一社) 埼玉県訪問看護ステーション協会への補助金
合計	5,687	0	